広報富士川

12月号

編集　静岡県庵原郡富士川町役場
発行　総務課広報係
電話　代表　岩渕3番
印刷所　望月印刷所　電話　岩渕304

町の現況

面積		31.09km²
人口	39.11.1現在	14.184人
男		7.014人
女		7.170人
世帯数	39.11.1現在	2.934世帯
有権者数	39.9.15現在	8.704人

『火災シーズン』一年間に三百九十億円が灰に

本格的な火災シーズンに入り、火の元に充分気をつけましよう。

昨年中の火災の実態と消防の現状をまとめた「消防白書」によると、全国で火災件数は五万四百七十八件死傷者は九千四百七十五人（うち死者八百五十三人）損害額は三百九十億円に達した。

これを県下でみると、千五百八十九件の火災が発生し、これによって千三百三十八むねの建物や一万八千三百三十アールの林野が焼け、九百十一世帯、五千六十人が災し、六億二千七百七十万円にのぼる財貨が灰じんに帰した。

そのうえ、十人のいたましい犠牲者と、百九十人の負傷者を出している。

さて当町の火災発生状況は、南松野原万の火災、中之郷幸町、東町などのボヤが続出している。また大事に至らなかったが火遊びのボヤもあつた。

白書によると出火原因では、①たばこ、②火遊び、③コンロ、④たき火、⑤ストーブの順。

写真は三十七年七月八日に本通りに発生した火災

最近暖房器具の発達により、この種の火災が急増した。ストーブが原因で起きた火災は二千六百二十三件うち約70%は石油ストーブが原因とされ、一昨年にくらべ二百六十二件多く、三十五年の四・五倍となっている。

ことしも、年末にかけて火災の激増が予想されそうだという、お互いに火の元に気をつけよう。

いつでもできる補充選挙人名簿の登録申出

公職選挙法の一部が改正され、補充選挙人名簿の登録申出制度が改正された。

◆いつでもできる申出

いままで補充選挙人名簿の登録の申出は、選挙が行われるたびに一定の期間に限ってできることになっていたが、今回の改正により年令満二十才に達した者、または、年令満二十才以上の者で他市町村から、富士川町に転入してきた者は随時登録の申出ができることになった。

◆申出は本人がして下さい

いままでは、第三者が申請することもできたが、今回の改正により、申出および申請は本人に限ってできることになった。

◆申出は必ず文書で

申出は定められた様式の文書により行わなければなりません。

以上が改正された補充選挙人名簿の登録申出制度のあらましですが、細部については選挙管理委員会にお問い合せ下さい。

工場、作業場などを対象に工業統計調査

昭和三十九年工業統計調査が、十二月三十一日現在でおこなわれます。

これは通商産業省所管の指定統計調査で、会社や個人などが経営する工場とか作業所などと呼ばれているすべての製造加工をおこなう事業所を対象としておこなわれます。

この調査の結果は、単に国の行政施策の資料とするばかりでなく、県、町の諸施策を推進するための資料として、また、民間企業の経営や、学者、有識者の研究資料として、各方面に利用されています。

当町の調査員

第一地区　佐野正豊　根方
第二地区　太田国弘　上町

優良納税者表彰

去る十一月十日、清水市清水銀行本店で、優良納税者の表彰が行われ、当町から次の方々が表彰を受賞された。

※清水県税事務所長賞
斉藤利雄さん　本通り三
※清水地方税務推進協議会会長賞
西村光男さん　本通り三
坪内佐吉さん　本通り四

〝望月さん緑十字銅賞を授く〟

岩渕旭町の望月寛治さんは、交通安全協力者として全日本交通安全協会々長、津島寿一氏より表彰を受けられた。

また、秋の交通安全運動実施にあたり、交通栄誉章「緑十字銅賞」を受賞した望月さんは数年前より、毎朝、旭町の国道で学童の登校、歩行者の横断に、交通整理に当り町民はもとより交通関係者より感謝されていた。

届出もれの医業類似行為業者に

あん摩師、はり師、きゅう師、および柔道整復師法の一部が改正されて、昭和二十二年法律公布のときに医業類似行為を業としていた者で、やむを得ない事由により届出ができなかったと認められる人については所定の手続によって届出ができることになったのでお知らせします。

なお、このことについて県では事情を調査していますので、該当と思われる方は至急最寄りの保健所に申しで、相談して下さい。

申しでの際は、必ず本人が直接保健所へ相談されるようにして、郵便とか他人を介するということはしないようにして下さい。

〝駅伝リレー〟

新しく成人となり、社会へ第一歩を踏み出す若人の前途を祝し、また町民のスポーツの振興を図るため、体育協会は、来年一月十五日各区対抗駅伝競走大会を実施する。

※申込み〆切　12月25日
教委内体協事務局へ

福祉センター千百余万円で着工

去る十一月六日、役場会議室で、福祉センターに関し、町内外建設業者、八社で指名競争入札が行われた入札結果は、竹島建設工業株式会社（社長＝竹島重雄氏）に一千百十七万五千円で落札。

なお、福祉センターの完成は来春三月二十日の予定

公害対策委員会発足によせて

当町に公害対策委員会が発足しました。

公害とは、町当局、会社工場、一般町民の不注意により発生するものと不可抗力的なものとの、二通りあるのですが、当事者の注意によりある数は減少することができ得る、と思います。

たとえば、町を流れる河川に、ごみをすてることは下流の住民にとっては、公害に当るがこれは上流の人たちの注意によって、取りのどかれるものです。

しかし公害が発生した場合は、役場産業課で取扱いますから、規定の書類により申請して下さい（書類は産業課に用意してあります。）

申請があれば産業課の係員が、現地を調査し、毎月二十日前後に委員会を開き調査結果を審議、その事件の解決に努力し、なお、町では解決しない事件は、県公害課に上申し、解決していただくようになっています。

町民の皆さん、公害で困っている方は書類に事柄を詳しく記入して、産業課へ提出して下さい。

公害対策委員長
深沢省吾

寄附

※五万円
川坂　小永井茂作氏
※五万円
上町二　久保田　巌氏
両氏は葬儀の香典の一部を、町および団体に寄附して下さいました。
紙面をかりてお礼申上げます。

行事予定（十二月）

11日　監査委員会
14～15日　民生委員会
18日　町議会定例会
21日　選挙管理委員会
青少協パレード
22日　区長会
24日　青年学級クリスマスハーティー
25日　農業委員会
28日　御用納め
1月1日　名刺交換会
2日　消防出初式
4日　御用初め

善意銀行

預託と払出し
10・11～11・31

＝預託＝
物品口座
※着物、下着、羽織など
望月今江　木島
※竹ボーキ　60本
大北老人クラブ
※自転車　一台
大村正敏　上町
※米　十八・九キロ
八坂クラブ　南松野
現金口座
※現金　二百二十五円
（一円玉募金）
鮎川伸代　東町二
※現金　一千円
（一円玉募金）
植松鉄蔵　小山
※現金　一万円
婦人会
※現金　百円
望月広己　舟山町
＝払出し＝
物品口座
※竹ボーキ　60本
第二小、中学校へ
※着物、下着など
低所得世帯へ

明るい町づくりに人婦バレーボールを

相生町　太田原

現在、富士川町の婦人バレーボールチームが他の市町村と試合ができることは、誠に喜びに堪えません。

ことに他のスポーツでは見られない、美しい光景です……

お母さんたちの試合中は、子供が「お母さんがんばれ」と応援。またチームの応援団も黄色い声を張上げ「××チームしつかり」なんて具合。傍で見ていても気持の良いものです。

なかには、「家の嫁が出るので孫の子守りがて、ら応援に来た。」など熱心なおばあさんもいる。

これは、老いも若きも童心にかえつての楽しいレクレイションと思います。

私が見て、特に感じたのは優秀な部落チームは技術よりも、強い団結、チームワークの良いところほど立派な成績を挙げていることです。

これは人の和、協力というものが、いかに大切であるか痛感するとともに、これが社会的、道義的に結びつけても尊い体験であるかは、数多くの人たちが如実に物語っていることでも知れます。

家庭にも、おのずと一家の和が生ずることと思います。

これは明るい町づくりの一貫と思います。

町税完納月間
11月25日～12月25日
－お忘れなく－

投書をお寄せ下さい広報係

小包などの差出しは早目に
※　小包は12月15日、年賀状は12月22日までに
※　年賀状は町内あてと地方あてを別々にたばねて
※　年賀状のあて名は正確に
※　小包の包装はしつかりと
――岩渕郵便局――

歳末たすけ合い運動（12月）（厚生省）

みんながサンタクロースに
たかし

「ちょっと一杯」が事故のもと
＝飲酒運転はだめ!!＝

交通事故、とくにその中で、「飲酒運転事故」は、発生した事故が、ほとんど人の死傷をふくむ重大事故になつている。

「飲酒運転事故」は、県下で昨年一年間に千九百九十一件、死者八十三人、傷者は千五百十四人でしたが今年は九月末現在ですでに二千四百六十六件、死者百十一人、傷者千九百五十一人と急増し、昨年一年間の「飲酒運転事故」が「全事故」に占める割合は、6・3%であつたのに対して、ことしは10・2%に達している。まことに残念なことです。

毎年、年末年始は年間を通して「飲酒運転事故」が最も増加する。これに対し静岡県交通安全対策協議会と、静岡県交通安全協会はこの機会に、「飲酒運転をなくす運動」を実施して悲惨な事故を防止するためいろいろな運動を展開することになつた。

死亡事故の二割にもおよぶ飲酒運転の防止に協力し楽しいお正月を迎えましょう。

「これくらいの酒なら」と、飲んだ酒で、抑制心がなくなり、気が大きくなつて二杯が三杯となり、つい危険に対する警戒心もなくなつてしまう。

朝から晩まで飲まなくてはいられない病的な常習めいていい者の事故。泥酔で松野の県道で、一人でひつくりかえるオートバイ運転者富士川町にも「飲酒運転事故」が相当ある。

事故になつたときの悲惨な事を考え、酒を飲んだら車を運転しない、飲ませたときは運転させないように家族ぐるみ事故防止につとめ、この町から「飲酒運転事故」を追放しましょう。

事故の被害者は、職人に多いことから建設産業組合、左官組合は、落成式、建前のときも車を運転して帰る人には酒を飲まさず、瓶詰を持たせることに申合せている。

モーテル・ドライブイン協会、飲食業、環境衛生同業組合、県酒類小売販売協同組合など、酒を売る事業所は、運転する人たちには酒を飲まさないように協力し、農業協同組合、県婦人団体連合会は、家庭の皆さんに呼びかけるよう協力している。

警察は、酒を飲んで交通違反をすると免許を取り消すか、長期停止し、事故を起すと、原則として免許を取り消すことにしている。

年末年始の飲酒運転をなくす運動」
12月11日～1月10日

丸山君第二位に
労仂者スポーツ祭典

仂く者が気軽にスポーツを楽しもうという趣旨のもとに、総評、中立労連が主催した第一回日本労仂者スポーツ祭典が、十一月二、三の両日、東京国立競技場を中心に、陸上、卓球、バドミントンの競技が行われた。

静岡県からは、陸上競技に十八名の選手が参加。当町からは百米に丸山博康君（役場勤務）が出場した。

百米決勝は、予選、準決勝通過の六名選手により行われた。

丸山君は力走し二位に入賞、11秒0で自己最高をマークした。

また、四百米リレーにも出場、静岡県チーム（荻原山）は第三位三輪、林、丸に入賞した。

丸山君は……

「決勝では最悪のスタートだつた。国体選手（一位愛知の山田君）を相手に敗れたのでは悔いはない。11秒0は自己の最高だし……来年は10秒台を目指してがんばる。」

来年の冬から
ダイヤル電話に

現在、町の電話局は岩渕局と松野局との二局があり、富士川地区から松野地区に電話をするのに「記録」でなければ通話できない、不便な状態です。

岩渕電話局の旧局舎は、明治三十五年郵便局として開設。昭和二十七年二月一日、郵政と電信の分離がされ、現在、磁石式五級局加入電話数四百十九本。

新局舎は中之郷堺町に新築、自動局として開局する

局舎は鉄筋一階建、百七十一坪、十一月に着工し完成は四十年六月頃の見込み自動局としてのサービス開始は四十年度の冬を予定

局舎の完成により自動局として開局するが、加入電話四百十九本に、現在申込みの三百五十一本、あわせて七百七十本が開局と同時にサービスできるかは未定

これは公社の年次計画により、加入電話の配分があるからで、町民の皆さんの七百七十本の全部が開局と同時に使用できるよう強く望まれている。

新局舎が完成すると次の利点があげられる。

①自動ダイヤル式となり、警察、消防専用電話ができる。これは防犯、火災にはどこす利便は大きい

②松野地区への電話は、ダイヤルで局番により市内電話となる。

③東京、静岡、清水、蒲原など、開局と同時に即時通話となる。

④電話が容易に設備できる

⑤商工、産業にはどこす利便も大きい。

＜文協紹介＞
流派をこえて
―生活の中に生花を―

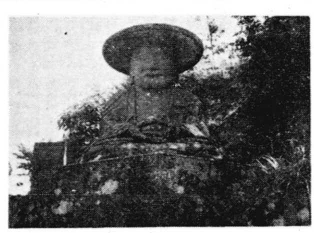
玄関を開けると、たいていの家に生花がある。若い奥さんや、娘さんでなくても、あり合せの花一本を、水盤に飾つてみようと思う心のゆとりが、近頃は一般化してきました。

小原流とか、池坊流とか、そういう流派のことはとにかく、自分なりに生花を生活の中にとり入れようとする気持がうれしい。そういう人のために、少しでも役に立ちたい。……というのが文化協会、華道部理事の時田さんの弁。

公民館の日本間で、家庭婦人に生花の指導をはじめたのは昭和三十四年。当時は婦人会の生花クラブとしてやつていたが、この六年間、毎月一日、十日、二十日の三日間、時田さんはほとんど独力で無報酬で、この考えを実行してきた。

現在、文化協会に所属して、会員は二十五名。午後一時から四時頃まで、都合のつく方には、どなたにも指導している。

新春には、図書館で生花展を開催する。文化祭の展覧会とはちがつた意味の大胆な、印象的な生花展をという考えで、町内の生花の諸先生と目下打合せ中。



史跡　石造地蔵菩薩座像

宗清寺本堂左側にある。この像は寛政9年10月、中之郷村名主、田中伝四郎が幼ないうちに死んだ子供の供養のために造立したものといわれ、石材は由比川上流産で信州の石工が製作した。像は頭部に円形の笠をかぶり、面相は柔和慈悲をよく表わし、手相は合掌印です。

高さ1.5m　推定の目方1900kg

人の流れ
(10・11～11・15)（敬称略）

祝結婚

区名	新郎	新婦旧姓
東一	望月圭六	宗代 鈴木
木島	仲摩敏之	八千代 北村
本一	斉藤隆	民子 北林
室野	望月明彦	清子 望月
相生	堀切亀平	美智子 川村
上町	大村倍男	トミ子 望月
宮町	小森好章	初恵 小森
宮町	菊池喜代人	トヨ子 荻野
本四	望月直彦	和子 磯部
本一	依田祥敬	富美子 笠井
原方	稲葉章	ふみ江 斎藤
大北	佐野善信	紘子 渡辺
清水	樋口富男	まさ子 近藤
平清水	小林安行	昌子 遠藤
大北	風岡勝	信江 伊藤

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
新町	山嶋肇	晃蔵	長男
相生	斎藤克弥	督雄	長男
木島	佐藤幸久	功	長男
東一	村松真智子	文吾	長女
坂下	長橋記代乃	達雄	長女
本一	池谷慎一郎	伊三雄	長男
舟山	丸山慶子	均一	長女
本四	磯部貴史	多利	長男
東二	酒井浄美	信利	長女
四十九	望月美和	成一	長女
旭町	折山美和	鉄夫	長女
本三	池上由紀彦	巽	長男
東一	進藤己嗣	章	二男
旭町	佐野学	高義	二男
新町	田口宣行	一喜	四男
本三	望月純代	桂司	長女
根方	望月章	璋三	二男
三十坂	大野美希	末雄	三女
辻	鈴木嘉浩	幸雄	二男
半在家	宇佐美悦子	春雄	二女
道上	杉原あゆみ	徳秋	二女
原方	二又川裕史	和雄	二男
山田	松下聖美	光英	長女

転出した人

区名	氏名	転出先
小池	野口晴代	清水市
宮町	浦田勝代	神戸市
東二	井上琴美	富士市
川坂	望月悦子	蒲原町
本三	山本富子	鷹岡町
相生	飯島光枝	吉原市
坂下	斎藤日江	清水市
半在家	加藤まゆ子	名古屋市
大北	若月芳江	吉原市
矢所	井出ため子	清水市
水の口	田辺恵子	横浜市

祈冥福

区名	氏名	年令
東二	原永宗明	二七
本四	岡田ひで	六四
東一	堀越靖雄	二三
東二	栗原貞勝	四七
四十九	渡辺伍作	六四
本一	内藤キチ	七三
四十九	富永チヨ	六二
道上	朝比奈ソノ	八九

血圧測定によせて
医博　宮沢　孝

今回の富士川町民の血圧測定の結果、次の表ができました。

測定対象は富士川地区は四十才以上六十才まで、松野地区は六十才以上です。対象人員に対し、測定数が極めて少なく、しかも性別年令別、職業別など区別していないので、これをもつて町民の血圧動勢を予測することはできません。

血圧測定表

最高血圧	人数
150以下	350人
150～170	90人
170～200	79人
200以上	28人
計	547人

最高血圧百五十以上あるものを一応注意、監視の必要あるものとすれば五百四十七名中百九十七名。約36%が高血圧となります。

百七十以上つまり直に何等かの医療を必要とする高血圧患者は百七名、約20%つまり十人に二人は高血圧患者ということになります。

もつともこれらの人々は既に、自から高血圧であることを知り、或は少なくともこの疑をもち、高血圧に関心を寄せていた人々が多いために、高血圧患者の比率が高く出たのではないかとも考えられます。

この人々の中には、既に医療を受けつつある者、自ら高血圧と知りながら自覚症状が全くないとの理由で医療を受けない人々あるいは、高血圧で医療を受けたが、下つたといわれたので中止した者。高血圧には薬がないといつて、草根木皮を飲んでいる者。また、中には高血圧を全く知らず高血圧を全く疑はなかつた者もあり、要するに人さまざまです。

紙面がないので、医師の立場から簡単に言えば……

まずこの統計でもわかるように、高血圧患者は非常に多い。我が国はこの高血圧が原因となる脳卒中死亡率が他の疾患に比し第一位です。しかも圧倒的に多い

あなた方の周囲、身辺をご覧下さい。殊にこれからの寒さにかけて、昨日も今日も、この脳卒中で倒れた人々が非常に多いことに今更ながら驚くことでしょう

これでいて各人が同じように、卒中にだけはなりたくないと言いながら、自分だけは脳卒中発作は起らないものと考えている人々があまりにも多いように思われます。

近年、血圧を下げる、降圧剤、よく効く薬が相ついで発見、発売されています

この降圧剤を、使用して血圧が下つても、薬を中止すると、またまもなく血圧は上る。

つまりこれらの降圧剤を使つて、血圧が下つたからといつて病気が直つたということにはならないのです。

従つて長く一年も二年も長期間服用を続けなければなりません。

殊に注意を要することは降圧剤を使用して、血圧を下げたり、また、中止して上げるというような事を繰りかえすと、かえつて高血圧患者の死亡を早めてしまうということにもなります

要するに、降圧剤の使用は、医師の指導によつて服用し、また中止する。つまり、高血圧患者の治療は医師の指導が絶対に必要だということです。

最後に繰りかえして、高血圧患者、これに原因する脳卒中患者は非常に多い、富士川町もこの例外ではない。殊にこれから冬期、寒さは高血圧の最大の敵です